

愛知教育大学教育実践総合センター

所在地：

住所 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1

電話 0566-26-2712 FAX 0566-26-2711

構成員：

センター長（併） 清水秀美(0566-26-2402)

専任教員

教育メディア開発分野

教授 清水秀美(hshimizu@aecc.aichi-edu.ac.jp,0566-26-2402)

教科教育研究分野

助教授 平賀伸夫(nhiraga@aecc.aichi-edu.ac.jp,0566-26-2726)

発達支援基礎研究分野

講師 川北 稔(kawakita@aecc.aichi-edu.ac.jp,0566-26-2727)

教育臨床分野

教授 生島博之(ikushima@aecc.aichi-edu.ac.jp,0566-26-2722)

客員教員

教育臨床分野

客員助教授 村上慎一（愛知県総合教育センター）

客員助教授 久林直美（名古屋市教育センター：ハートフレンドなごや）

事務官

専門職員 玉井隆光(tttamai@office.aichi-edu.ac.jp,0566-26-2712)

事務補佐員 西田咲子

2. 学内での年間活動状況

a) センター主催研究会・研修会

<教科教育研究分野>

分野研究会

第1回研究会（18名参加）/6月16日（水） 13:00～

1) 平成15年度活動報告および会計報告

2) 平成16年度活動計画

<発達支援基礎研究分野>

分野研究会

第1回研究会（7名参加）/11月17日（水） 15:30～

議題：平成16年度活動計画

第2回研究会（5名参加）/12月15日（水） 16:00～

論題：「ドルトによる子どもの新しい教育法」（報告：山中哲夫）

b) 附属学校園との共同研究会，研修会

<教科教育研究分野>

分野研究会

第2回研究会（11名参加）/6月25日（金） 14:30～

1) 附属高等学校との連携研究会

研究授業 ホームルーム活動（第1学年）「ボランティア活動って何だろう」

授業者：附属高等学校 櫛田 敏宏，刈谷市社会福祉協議会 佐々木 孝

研究協議

第3回研究会(37名参加)/7月14日(水) 11:45~

1) 附属高等学校との連携研究会

研究授業 情報A(第1学年)「情報の共有」

授業者: 附属高等学校 野田 正幸

研究協議

第4回研究会(13名参加)/9月24日(金) 15:30~

1) 附属幼稚園との連携研究会

研究協議「幼児期の数と量にかかわる体験を考える」

レポーター: 附属幼稚園 水谷 幸子 廣田 邦子

第5回研究会(15名参加)/10月27日(水) 11:00~

1) 附属高等学校との連携研究会

研究授業 選択政治経済(第3学年)「現代世界と日本」

授業者: 附属高等学校 小笠原 敬一

研究協議

<教育臨床分野> (いじめ・不登校・学級崩壊等プロジェクト)

分野研究会

第1回研究会(15名参加)/6月2日(水) 14:00~16:30

[事例発表] 遊ぶことが難しい小5女児(高機能自閉症)のプレイセラピー

第2回研究会(12名参加)/7月7日(水) 14:00~16:30

[事例発表] 友達への乱暴、多動などを主訴とする小1男児のプレイセラピー

第3回研究会(14名参加)/9月1日(水) 14:00~16:30

[事例発表] 吃音を主訴とする小2男児の母親面接

第4回研究会(13名参加)/10月6日(水) 14:00~16:30

[事例発表] 学校での人間関係がうまくいかない小5男児のプレイセラピー

第5回研究会(15名参加)/12月1日(水) 14:00~16:30

[事例発表] うつ病で休学中の高2男子との面接過程

第6回研究会(13名参加)/2月2日(水) 14:00~16:30

[事例発表] 不登校高校1年生女子とのメール相談

第7回研究会(14名参加)/3月2日(水) 14:00~16:30

[事例発表] 「学校はバカの行くところ」と言う小3女児のプレイセラピー

c) センター教員の学部・大学院教育への参与状況

教官名	担当教科	必・選	単位	学年	人数	備考
清水 秀美	情報科学総合演習	必	2	3	2	情報教育
	情報科学論文演習	必	2	4	5	情報教育
	情報科学特別実習	必	2	4	5	情報教育
	教育心理学研究法(昼)	選	2	M	10	学校教育臨床専攻
	教育心理学研究法(夜)	選	2	M	8	学校教育臨床専攻
	教育心理学特別演習					
	(昼)	選	2	M	13	学校教育臨床専攻
	卒論指導				6	情報教育
	修論指導				5	学校教育臨床専攻
教官名	担当教科	必・選	単位	学年	人数	備考
生島 博之	児童・生徒の生活の指導と相談(中)	必	2	3	50	学部教育科目
	臨床心理実習	必	1	M	18	学校教育臨床専攻
	臨床心理実習	必	1	M	18	学校教育臨床専攻

臨床心理面接士（昼）	選	2	M	11	学校教育臨床専攻
臨床心理面接士（夜）	選	2	M	1	学校教育臨床専攻
臨床心理面接士（夜）	選	2	M	6	学校教育臨床専攻
サテライト					
非行心理学特論	選	2	M	24	学校教育臨床専攻
修論指導				12	学校教育臨床専攻

なお、学校教育臨床専攻では、当センター心理教育相談室での臨床実習（教員が院生とペアで相談ケースを担当すること）を、授業（講義、演習、実習）と同程度に必修としており、平成16年度には341時間の心理教育相談（カウンセリング）を実施した。コマ数（1.5時間×15回）に換算すると15.6コマを担当したことになる。

教官名	担当教科	必・選	単位	学年	人数	備考
平賀 伸夫	理科研究B I（前期）	必	1	2	10	学部教育科目
	環境と人間セミナー（前期）	必	2	3	50	学部教育科目
	総合演習（前期）	必	1	4	4	学部教育科目
	環境教育概論（前期）	選	2	1	50	学部教育科目
	環境教育方法論（前期，昼）	選	2	M	10	環境教育専攻
	環境教育方法論（前期，夜）	選	2	M	5	環境教育専攻
	理科研究B I（後期）	必	1	2	10	学部教育科目
	保育内容研究・環境A（後期）	必	1	2	20	学部教育科目
	総合演習（後期）	必	1	3	2	学部教育科目
	環境教育方法論（後期，昼）	選	2	M	10	環境教育専攻
	環境教育方法論（後期，夜）	選	2	M	5	環境教育専攻
	卒研指導				4	幼児教育

3. 対外的な教育・研究活動状況

a) 子ども対象の公開講座の開催

小学生を対象としたおもしろ科学実験教室

講師：戸谷義明，平賀伸夫

参加児童：14名

中学生を対象としたおもしろ科学実験教室

講師：戸谷義明，平賀伸夫

参加生徒：5名

b) フレンドシップ事業 - 訪問科学実験教室 -

1) 親子ふれあい祭り 5月29日（土）

幼稚園、小学生 参加学生数10名

2) 西尾市立平坂小学校 6月23日（水）

5・6年生209名 参加学生数82名

3) 刈谷市立平成小学校子ども会 7月24日（土）

小学生110名 保護者50名 参加学生数37名

4) 西尾市立平坂小学校 9月22日（水）

- | | |
|----------------|-----------|
| 3・4年生222名 | 参加学生数64名 |
| 5)岡崎市立広幡小学校 | 10月6日(水) |
| 5・6年生192名 | 参加学生数32名 |
| 6)豊橋科学展 | 10月16日(土) |
| 小・中学生 | 参加学生数12名 |
| 7)岡崎市立常盤東小学校 | 10月27日(水) |
| 3年生～6年生66名 | 参加学生数19名 |
| 8)岡崎市立竜海中学校文化祭 | 11月13日(土) |
| 1年生～3年生 | 参加学生数17名 |
| 9)三好町立北部小学校 | 11月17日(水) |
| 3年生～6年生280名 | 参加学生数57名 |
| 10)日進市立香久山小学校 | 12月1日(水) |
| 5・6年生360名 | 参加学生数70名 |
| 11)ミニミニ子どもまつり | 12月12日(日) |
| 幼稚園・小学生 | 参加学生数10名 |
| 12)岡崎市立岩津小学校 | 12月8日(水) |
| 3年生～6年生295名 | 参加学生数70名 |
| 13)岡崎市立小豆坂小学校 | 12月15日(水) |
| 5年生107名 | 参加学生数48名 |
| 14)刈谷市立住吉小学校 | 2月実施予定 |

c) 教師等のための研修会の開催

教師等のための教育相談研修会の開催

愛知学校カウンセリング研修会(毎月2回,参加者10名)

愛知学校教育相談事例研究会(毎月1回,合宿2回,参加者30名)

愛教大心理療法研究会(毎月1回,参加者10名)

教師のための公開講座の開催

『教育臨床セミナー』(3日集中17時間,参加者30名)

『学校教育臨床-事例研究A-』(9回27時間,参加者7名)

『学校教育臨床-事例研究B-』(9回27時間,参加者16名)

『箱庭づくり体験』(2回9時間,参加者24名)

d) 教育相談(面接相談=カウンセリング,プレーセラピー,箱庭療法等)の実施

外来の面接相談

(不登校他126ケース208人,総面接回数3,347回,総面接時間3,347時間)

対教師等相談

(学級運営他74ケース97人,総面接回数80回,総面接時間116時間)および
訪問相談(10校程度)

附属岡崎中学校でのスクールカウンセリングの実施(16.4.12~17.3.14 全19回95時間)

センター協力員・院生への個人スーパービジョン(32人,49時間)

電子メール・ファクシミリを利用した相談”SOBA”(いじめ)相談プロジェクト

(常時開設)

e) 愛知県教育委員会派遣教員内地留学生の臨床教育および研究指導

大見本 房恵 「生徒理解を基点とした、教師のリーダーシップについて」

- 望ましい人間関係を築く学級経営を目指して -

堀 出 正明 「教育相談係によるコンサルテーションに関する考察」

- 不登校生徒を抱かえた担任と親への援助 -

堀 江 耕治 「教師-生徒の関係とコミュニケーションに関する考察」

- ディスコミュニケーションの分析と低減 -

太田 恭子 「高校新入生の学校環境への適応に関する研究」

- 高校新入生用適応感尺度 (A E F S) の妥当性の検討を通して -

f) その他

- ・「学校教育支援データベース」の作成とその活用（愛知県内小・中学校の教師、保護者、児童・生徒向けの支援の紹介）
- ・コンピュータ利用教育のための環境整備
- ・教材作成環境の整備
- ・マルチメディア室の管理運営
- ・教育実習ビデオライブラリーの公開
- ・県市教育委員会のいじめ・不登校、ボランティア活動等関連委員会への協力
- ・“ S O B A ”（学生相談サービス）による学習会（発達障害，子どもの虐待，いじめ，不登校について）

4. 外部資金導入状況

a) 科学研究費補助金受給状況

基盤研究(c)-2「授業方法の違いが、実験結果の解釈のしかたに及ぼす影響」(平成 15～17 年度)

5. 将来構想

教育研究センター（教育実践総合部門）の方向で検討中